

神戸中部支部は六甲山を中心に広範囲を拠点として病院・公共施設などで活動しています。

拠点活動は、済生会兵庫県病院、JCHO 神戸中央病院や神戸百年記念病院、川崎病院等は地域住民に対し病院の一角を活動場所として、吉田病院や三菱神戸病院、有馬温泉病院等は地域福祉センターや近隣の公共施設を活用し、すずらん病院、イオンモール神戸南は商業施設の活用、神大病院は、小～高校に出向き青少年への防煙教室を実施する 12 拠点で実施しています。



イオンモール神戸南 健康・子育て

イオンモール神戸南店のオープンをうけ、新たな開催場所として、イオンモールとの協働により、昨年は出前隊「まちの保健室」を 4 回開催しました。イオンモール側でも広報に協力いただき、口コミで活動が広まり、次の開催を楽しみにしているという声が少しずつ聞かれるようになりました。4 月から「イオンモール神戸南」拠点での活動を開始し、初めての方、ご友人同士、ご夫婦で訪れるリピーターの方も多く、大型ショッピングモールならではの、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加されています。ここでは、体組成計・骨密度計・血管年齢測定・健康相談を実施。「まちの保健室」活動を通して地域の方々の健康維持・増進への意識が高まっていることを実感しています。また、「病院に行くことがないから一部分でも自分の健康状態を知ることができて良かった」「今度は知り合いもつれてきます」などの言葉が返ってくると私たちのモチベーションも上がります。健康相談の成功した一例では 6 月に来られた方が、10 月にリピーターとして来られ、「指導されたことで 10 kg の減量に成功した」と喜びの報告を受けました。また、初めてボランティア活動に参加した若い看護師からも「施設内での活動と、社会生活を送っておられる住民の健康生活のつながりを実感した。不安を抱いてボランティアに参加したけれども先輩ボランティアと一緒に活動することで楽しく参加者と関わることができた」との感想があり、今後も活躍を期待できそうです。地道な活動が健康意識をより高め、これからもボランティア活動の啓蒙と地域住民のニーズに応えられるよう頑張っていきたいと思います。





三菱神戸病院

地域住民を対象に、和田岬地域福祉センターで、「まちの保健室」活動として医師による講演と健康相談を開催しています。30 名ほどの高齢者が参加され、「良い学びの機会となった」と喜ばれています。講演後に骨密度・血管年齢・血圧などの測定を行い、健康相談で生活習慣の改善などアドバイスすることで、健康寿命について考える場となるようにサポートを行っています。



吉田病院

医師や認知症看護認定看護師による「認知症について」や「認知症予防」の講座を行っています。参加者が一緒に脳トレを行ったあと、健康相談を実施します。参加者はリピーターの方が多く、脳トレをおこなっている間も、参加者同士で自己紹介をしたり、トレーニングでじゃんけんをしたりすることで交流を深めています。「次回もぜひ参加したい」と参加者からの声を多く聞くことができ、ボランティア看護職のモチベーションがあがり、工夫を凝らした活動を考えることが楽しみのなっています。



出前隊活動

自治体等の団体や地域包括支援センターから出前隊の依頼があり、精力的に実施しています。あんしんすこやかセンターから、結核予防啓発活動の協力依頼で、「地域の中でレントゲンをとるだけではなかなか集まりがない」と相談を受け、地域のレントゲン検査日にあわせて、「まちの保健室」を開催するようになり3年目になります。北五葉、南五葉、西大池の3か所で結核ハイリスク検診後に、骨密度・体組成・血圧測定・健康相談を行っています。住民の方の認知度も高まっており、西大池では64名の参加があり、時間オーバーする盛況ぶりでした。特に健康相談は、介護や日常生活での不安、持病についてなど多岐に渡り相談され、時間も長くなります。順番を待つ間、血圧を測定するなど、地域包括支援センターの方と協働し、また地域の婦人会の方が協力してくださる場面もあり、皆さんとても若々しく活動的でこちらも元気をもらうことができます。

神戸中部支部の地域柄、山間部など交通の便が悪い所も多く、受診や検診を受けている方が少ないという傾向があります。だからこそ、気軽に相談できる場所として地域の方々の集いの場づくりに、「まちの保健室」が役立っていると確信しています。活動の場を広げ、病院・行政・地域のつながりを持てる活動を続けていきたいと思ひます。

